



炬火祭

たいまつまつり

京都市登録無形民俗文化財登録第四十八号

炬火の由来

壬申の乱(六七二年)の時、
天武天皇(三栖神社御祭神)が
大津行幸にあたって、
三栖村を通過された時、
炬火をともし暗夜を
照らし給うたという
伝説に由来しています。
平成元年に三十三年ぶりに
復興しました。

▼昭和29年 炬火祭の様子



令和 5 年 10 月 8 日 夜 8 時 点火
場所 / 三栖会館前(中書島駅前) ~ 京橋

主催 / 三栖神社奉賛会

協賛 / 三栖神社祭礼実行委員会・浜三栖若中・三栖炬火会・下三栖青年会